

大分合同新聞

ワークシート

スポーツイベントの交通対策は 年 組 名前

① 記事中に「複数の想定外」とあります。記事中から二つ挙げてください。

帰宅時間の降雨、複数の交通事故

② スポーツイベントの交通対策について、都心部と地方それぞれどうしようとしているのか、記事中の言葉を使って説明してください。

都心部…

物流抑制やテレワークの導入など

地方…

「パークアンドライド」の導入など

東京五輪・パラ ラグビーW杯



交通渋滞でベネスエラ戦の試合会場に大輪に遅れて到着した日本代表選手。スタンドにも空席が目立った11月16日、大分銀行ドーム

東京五輪で「パークアンドバスライド」を検討する主な会場

県営あづま球場 (福島市)	野球・ソフトボール
カシマスタジアム (茨城県鹿嶋市)	サッカー
霞ヶ関CC (埼玉県川越市)	ゴルフ
釣ヶ崎海岸 (千葉県一宮町)	サーフィン
伊豆ベロドローム (静岡県伊豆市)	自転車

2020年東京五輪・パラリンピックや来年のラグビー・ワールドカップ(W杯) 日本大会を前に、都心部に比べ交通手段や経路に限られる地方会場の輸送計画の策定が進んでいる。ラグビーW杯会場の一つ、大分銀行ドーム(大分市)で開催された11月16日のサッカー日本代表の国際親善試合、ベネスエラ戦では、選手への到着が大幅に遅れ、観客が試合に間に合わないトラブルが発生。「車社会」に合った対策の重要性が浮かび上がった。

ベネスエラ戦開始90分前、智恵選手がツイッターに「すべし開始時間は変更できない。午後6時、サッカー日本代表を乗せたバスは、会場になった。到着予定時刻になっても渋滞でスタジアム入りできず、バスは警察車両の先導で、選手は体を十分に動かさないまま試合に入った。入場券は完売だったが、会場は空席が目立ち、観戦を諦めた人も相当数いたもようだ。」とつぶやいた。

日本サッカー協会は「日本協会の担当者は「複数」

「大分を教訓に」

数の想定外が重なった」と説明する。帰宅時間に降雨があり、市内の交通量が増加。近くを走る東九州自動車道料金所周辺での複数の交通事故も重なった。自家用車による来場が制限されなかったため、会場周辺に乗り入れた車両が渋滞に拍車をかけた。

東京五輪は都心部については大会組織委員会や都、府が物流抑制やテレワークの導入などで経済界に協力を求め、期間中の交通量を減らす対策に取り組み。一方、地方会場はラグビーW杯を含め近郊の駐車場まで自家用車で来場した観客をバスで運ぶ「パークアンドバスライド」の導入などで交通量の削減を目指す。

ゴルフの霞ヶ関CC(埼玉県川越市)やサーフィンの釣ヶ崎海岸(千葉県一宮町)などで実施が検討されているが、東京組織委員会関係者は「今回の大分の件は他山の石としない」と語る。別の組織委関係者は、周辺に鉄道の駅がない会場で「いかに分散して運ぶかを考えなければならない」と課題を挙げた。

(2018年12月3日付夕刊1面)

③ 自分がもし今回の大分での事態に巻き込まれていたら、どう思いますか。また、ほかの人はどう考えるかとも思いませんか。自由に考えてみましょう。

すごく腹立たしいと思う、選手は苦勞したけど試合ができてせめてもの救い、運営関係者も大変なんだろうーなど、見方、立場によっていろいろなことが考えられると思います。友達と意見を交流してみましょう。